

12月1日は「世界エイズデー」無料・匿名で検査できます 岡有明保健所 ☎ 72-2184

**有**明保健所では、「世界エイズデー」前後にHIV検査を拡充して実施します。

エイズはHIVというウイルスに感染して起こる病気です。HIVに感染すると、免疫力が低下し、様々な感染症や悪性の腫瘍などが現れます。

感染から発病まで、数年の潜伏期があり、感染していても早期に発見し治療を始めることで、発病を予防したり、遅らせたりすることができます。大切な人へ感染を広げないためにも、一度は検査を受けましょう。検査は、採血だけですので、短時間で終了します。

●エイズ予防情報ネット（下記QRコードを読み取るとホームページを閲覧できます）



保険料控除証明書が送付されます

岡控除証明書専用ダイヤル ☎ 0570-003-004

**所**得税と住民税の申告の際、国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります（その年1年間に納めた保険料が対象）。

控除を受けるために必要な「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が、日本年金機構から11月上旬に送付されます。また、平成28年10月1日～12月31日の間に、ことし初めて国民年金保

険料を納付した人には、平成29年2月上旬に送付されます。年末調整や確定申告の際は必ず添付してください。

家族の国民年金保険料を納めた場合も、納めた本人の社会保険料控除に加えることができます。送付された家族宛ての控除証明書を添付して申告してください。

考えてみませんか？毎日の食事のコト Vol. ③

岡保健センター ☎ 63-1133

**食**生活指針は、一人ひとりの健康増進、生活の質の向上、食料の安定供給の確保などを目的として、文部科学省、厚生労働省、農林水産省が策定しています。平成28年6月に改正が行われました。



指針⑧日本の食文化や地域の産物を活かし、郷土の味の継承を

- ◎和食をはじめとした日本の食文化を大切に、日々の食生活に活かしましょう
- ◎地域の産物や旬の素材を使うとともに、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を楽しみましょう
- ◎食材に関する知識や調理技術を身につけましょう
- ◎地域や家庭で受け継がれてきた料理や作法を伝えていきましょう

指針⑨食料資源を大切に、無駄や廃棄の少ない食生活を

- ◎まだ食べられるのに廃棄されている食品ロスを減らしましょう
- ◎調理や保存を上手にして、食べ残しのない適量を心がけましょう
- ◎賞味期限や消費期限を考えて利用しましょう

指針⑩「食」に関する理解を深め、食生活を見直してみましょう

- ◎子供のころから、食生活を大切にしましょう
- ◎家庭や学校、地域で、食品の安全性を含めた「食」に関する知識や理解を深め、望ましい習慣を身につけましょう
- ◎家族や仲間と、食生活を考えたり、話し合ったりしてみましょう
- ◎自分たちの健康目標をつくり、よりよい食生活を目指しましょう

新副市長 藪内孝則 就任！

プロフィール

- 生年月日 昭和24年6月19日（67歳）
- 略歴
  - 昭和48年3月 福岡工業大学工学部卒業
  - 昭和49年4月 熊本県立高等学校教諭
  - 平成13年4月 熊本県立熊本工業高等学校教頭
  - 平成19年4月 熊本県立球磨工業高等学校校長
  - 平成22年3月 同 退職
  - 平成24年5月 荒尾市行政協力員
  - 平成27年4月 海陽中学校評議委員
  - 平成28年4月 熊本県立玉名工業高等学校非常勤職員
  - 平成28年10月1日 荒尾市副市長就任
- 趣味 釣り、日曜大工、ツーリング
- 好きな食べ物 魚介類、野菜類
- 好きな言葉 継続は力なり  
何事にも感謝の気持ちを持つこと



▲辞令交付式では、緊張した面持ちで山下市長からの辞令を受け取りました

9月議会で承認をいただき10月1日から副市長を拝命しました藪内孝則と申します。私は36年間県立高校の教職員として青少年の教育に関わってきました。定年を機に、郷土荒尾に貢献できる地域活動を、地域の皆さんと共に多分野にわたり行ってきました。このたび、副市長として市民の皆さんと議会、行政当局のパイプ役という重要な役目をいただき、期待と責任の重さを痛感しながら日々仕事に励んでいます。総合計画の「子どもと楽しむまち」をつくるため、市民の皆さんと共に荒尾の振興発展が速やかに効率良く推進できるように誠心誠意尽力します。そして、現在荒尾に住んでいる人々は今後も住み続けたいくなるよう、市外で見守って下さる人々は故郷を誇れるような特色を活かしたまちづくりに関与します。

市民の皆さんと、荒尾に縁のある皆さんのお力添えとご助言をお願いして就任の挨拶とさせていただきます。

私にはない、あるいは足りないものを持っている人で、とりわけ市政に情熱を持った人を副市長にと考えていました。

藪内副市長は、荒尾市生まれの荒尾育ちで、第一小学校、第一中学校、荒尾高校のご卒業で地元事情にも深く精通されています。県立高校校長退官後も、幅広い分野で市の地域づくりに積極的に関わってこられました。

年齢も私より10年先輩で、人生経験も豊かで、教育現場で培った経験などから、職員の人材育成、市議会との調整はもとより、今後直面する本市の課題への対応など、その力量を大いに期待しています。

市民の皆さんとともに、全国有数の魅力あふれるまち荒尾を目指して頑張っていきます！

山下市長からのエール！

